



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 藤井産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9906 URL https://www.fujii.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 昌一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 純一 TEL 028(662)6060
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,127	15.4	578	126.1	769	83.4	468	118.7
2023年3月期第1四半期	15,708	△1.7	255	△50.3	419	△37.1	214	△45.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 688百万円(180.2%) 2023年3月期第1四半期 245百万円(△25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	55.37	-
2023年3月期第1四半期	25.32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	56,523	33,291	55.2	3,684.74
2023年3月期	58,735	33,065	52.8	3,665.24

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 31,190百万円 2023年3月期 31,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	15.00	-	50.00	65.00
2024年3月期	-				
2024年3月期(予想)		25.00	-	40.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	2.1	1,200	△16.3	1,500	△11.1	900	△13.3	106.33
通期	87,000	5.2	3,800	3.4	4,300	2.2	2,800	2.1	330.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名）ー、除外 ー 社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	10,010,000株	2023年3月期	10,010,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,545,311株	2023年3月期	1,545,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	8,464,562株	2023年3月期1Q	8,464,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更で行動制限が撤廃されたことにより、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られます。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や資源価格の高騰、為替変動等の経済的リスクは依然として高く、今後も先行き不透明な状況が続くと思われま

す。このような状況の下、当社グループは、「常に時代に対応し、新たな価値を創造しつづける企業グループ」を目指し、持続的な成長と更なる企業価値の向上を図るべく事業展開をしております。

当第1四半期連結累計期間における連結成績は、売上高181億27百万円(前年同四半期比15.4%増)、経常利益7億69百万円(前年同四半期比83.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億68百万円(前年同四半期比118.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、一部の業務について、事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(マテリアルイノベーションズカンパニー)

電設資材事業は、商品供給遅延解消による物件の進捗回復や仕入商品値上げに伴う販売価格の上昇などにより、堅調な推移となり前期を上回る売上高となりました。建設資材事業は、首都圏エリアにおいてスポーツ施設や物流関連の物件が順調に推移したことにより、前期を上回る売上高となりました。情報ソリューション事業においては、情報通信工事は本社および首都圏エリアで堅調に推移しましたが、情報インフラ関連が低調な推移となり、前期を下回る売上高となりました。コンクリート圧送工事は、大型案件がなく前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は98億40百万円(前年同四半期比13.1%増)となりました。

(インフラソリューションズカンパニー)

産業システム事業は、生産現場のカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進し、医療機器・半導体関連メーカーを中心に主力製品の販売や生産設備の更新案件が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。建設システム事業においては、建設工事は、中部エリアは低調な推移となりましたが、本社、首都圏及び東北は堅調に推移し、前期を大きく上回る売上高となりました。設備工事は、茨城エリアは堅調な推移となりましたが、本社において前期にありました大型案件の反動により、前期を下回る売上高となりました。また、太陽光発電設備工事も好調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は60億7百万円(前年同四半期比14.3%増)となりました。

(コマツ栃木)

土木建設機械事業は、新車販売が前期から積み上げた受注残の出荷売り上げにより前期に比べ大幅な売上増となりました。また、サービスマンテナンスは大型機械の計画整備の大口案件前倒し受注もあり売上増となりました。

この結果、売上高は18億61百万円(前年同四半期比39.8%増)となりました。

(その他)

再生可能エネルギー発電及び路面切削工事は、前期並みの売上高となりました。計測機器等の販売は、受注が低調となり、前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は4億17百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億11百万円減少し、565億23百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20億96百万円減少し、427億27百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少し、137億95百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ24億27百万円減少し、208億69百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、23億62百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ2億25百万円増加し、332億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において2023年5月12日公表の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,955,498	17,873,274
受取手形、売掛金及び契約資産	22,503,297	18,013,567
商品	3,137,000	4,039,518
未成工事支出金	1,135,503	1,297,637
原材料及び貯蔵品	6,786	2,877
その他	1,189,002	1,585,538
貸倒引当金	△102,669	△84,567
流動資産合計	44,824,421	42,727,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,834,937	2,793,898
機械装置及び運搬具（純額）	2,625,235	2,556,362
土地	3,183,449	3,183,449
その他（純額）	449,229	426,026
有形固定資産合計	9,092,850	8,959,736
無形固定資産		
のれん	132,580	120,527
その他	99,432	89,593
無形固定資産合計	232,012	210,120
投資その他の資産		
投資有価証券	3,073,910	3,144,653
その他	1,627,198	1,595,315
貸倒引当金	△115,264	△114,009
投資その他の資産合計	4,585,845	4,625,959
固定資産合計	13,910,708	13,795,817
資産合計	58,735,130	56,523,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,995,342	15,252,524
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	842,802	333,994
賞与引当金	1,059,651	437,462
役員賞与引当金	108,000	25,409
工事損失引当金	2,200	38,928
1年内償還予定の社債	12,000	12,000
その他	2,276,544	3,768,974
流動負債合計	23,296,540	20,869,293
固定負債		
社債	66,000	66,000
役員退職慰労引当金	216,769	21,546
退職給付に係る負債	994,190	1,012,108
その他	1,095,768	1,263,161
固定負債合計	2,372,727	2,362,817
負債合計	25,669,267	23,232,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,075,687	2,075,687
利益剰余金	27,386,729	27,432,057
自己株式	△953,409	△953,037
株主資本合計	30,392,657	30,438,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608,679	728,785
退職給付に係る調整累計額	22,862	23,061
その他の包括利益累計額合計	631,542	751,846
非支配株主持分	2,041,662	2,101,348
純資産合計	33,065,862	33,291,552
負債純資産合計	58,735,130	56,523,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	15,708,812	18,127,042
売上原価	13,239,500	15,154,097
売上総利益	2,469,312	2,972,944
販売費及び一般管理費	2,213,646	2,394,767
営業利益	255,665	578,177
営業外収益		
受取利息	43	50
受取配当金	42,867	51,332
仕入割引	59,327	66,856
受取賃貸料	11,953	12,633
持分法による投資利益	10,401	6,626
貸倒引当金戻入額	17,122	19,356
その他	32,845	47,802
営業外収益合計	174,562	204,658
営業外費用		
支払利息	2,548	3,316
賃貸費用	3,801	3,852
その他	4,213	5,933
営業外費用合計	10,563	13,102
経常利益	419,664	769,733
特別利益		
投資有価証券売却益	—	68,561
特別利益合計	—	68,561
税金等調整前四半期純利益	419,664	838,295
法人税等	177,797	317,652
四半期純利益	241,867	520,642
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,567	51,932
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,300	468,710

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	241,867	520,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,305	168,177
退職給付に係る調整額	1,908	198
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,291	△318
その他の包括利益合計	3,921	168,057
四半期包括利益	245,789	688,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,101	589,014
非支配株主に係る四半期包括利益	32,687	99,685

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月27日 定時株主総会	普通株式	338,705	40	2022年3月31日	2022年6月28日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月28日 定時株主総会	普通株式	423,381	50	2023年3月31日	2023年6月29日	利益剰余金

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	6,158,652	3,802,295	1,331,215	11,292,163	353,620	11,645,783
首都圏エリア	2,309,390	932,486	—	3,241,876	—	3,241,876
東北エリア	235,096	307,771	—	542,868	—	542,868
その他	—	211,968	—	211,968	66,316	278,284
顧客との契約から生じる収益	8,703,139	5,254,521	1,331,215	15,288,876	419,936	15,708,812
外部顧客への売上高	8,703,139	5,254,521	1,331,215	15,288,876	419,936	15,708,812
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,403	5,642	168	12,213	139	12,352
計	8,709,542	5,260,163	1,331,383	15,301,090	420,075	15,721,165
セグメント利益	113,911	70,735	93,905	278,552	118,118	396,670

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、路面切削事業等を含んでおります。

2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	278,552
「その他」の区分の利益	118,118
持分法による投資利益	10,401
配賦不能全社損益(注)	11,215
その他の調整額	1,377
四半期連結損益計算書の経常利益	419,664

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	6,969,181	4,430,774	1,861,438	13,261,394	350,709	13,612,104
首都圏エリア	2,683,745	1,101,911	—	3,785,656	—	3,785,656
東北エリア	187,637	322,052	—	509,690	—	509,690
その他	—	152,725	—	152,725	66,865	219,590
顧客との契約から生じる収益	9,840,564	6,007,463	1,861,438	17,709,467	417,574	18,127,042
外部顧客への売上高	9,840,564	6,007,463	1,861,438	17,709,467	417,574	18,127,042
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,310	2,807	464	8,582	513	9,095
計	9,845,874	6,010,270	1,861,903	17,718,049	418,088	18,136,137
セグメント利益	280,765	178,188	187,814	646,769	119,914	766,683

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、路面切削事業等を含んでおります。

2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	646,769
「その他」の区分の利益	119,914
持分法による投資利益	6,626
配賦不能全社損益(注)	2,335
その他の調整額	△5,911
四半期連結損益計算書の経常利益	769,733

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を見直しており、「その他」に計上していた一部の業務について、「インフラソリューションズカンパニー」に計上しております。前連結会計年度のセグメント情報については、変更後のセグメントの区分方法に基づいております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。